

吸い取り紙インターフェース
プロジェクト

掲示板の前に立って、この掲示の内容を取っておきたいなあと思うことがありますよね。このようなときには、手書きで紙やPDAにメモを取ったり、デジカメや携帯電話で写真を撮ったり、一時的に剥せるものであればコピーを取ったりすると思います。しかし、メモは面倒ですし、複数枚からなる掲示物だと写真を撮るのも大変です。

この点を解決するユーザインターフェース、そして、システムを提案し、開発するのが本プロジェクトの目的です。具体的には、掲示物にPDAなどの携帯機器を近づけるだけで、PDAにその掲示物の内容が取り込めるといえるのです(写真1)。紙に書かれている情報を電子的な紙(PDA)に吸い取るというイメージから吸い取り紙インターフェースと名付けました。プロジェクトの第一段階では手書きの掲示物を対象としますが、徐々に扱うことのできる情報の種類を増やしていく予定です。

このインターフェースが広まれば、たとえば、駅などに貼られているポスターにPDAを近づけるだけで、その掲示内容を手元に残すことができるようになります。さらに、より詳細な情報や、ときには割引券などが手に入るかもしれません。また、POP型のインターフェースであることから、どのくらいの人が、どのような人が、掲示したポスターに興味を持ってくれたのかを測ることができます。

【加藤直樹 (naoki@cc.tuat.ac.jp)】

●写真1 吸い取り紙インターフェース



未踏を歩く

スーパークリエイターはどこにいる

1

未踏ソフトウェア創造事業
伊知地 PM グループ
<http://www.ipa.go.jp/NBP/15nendo/15mito/>

今月からスタートする本連載では、未踏ソフトウェア創造事業に採択された開発者の皆さんに、プロジェクトの内容を紹介していきます。今回は伊知地 PM のグループです。

